

# デイサービスセンター

急激な高齢化に対応すべく地域医療・介護の連携と充実、整備が急がれる現在、通所介護事業所においても利用者のライフステージや身体状況の変化に合わせた、軽度な予防から重度の介護まで幅広い対応が求められています。高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して在宅生活を継続していくためには、事業所が社会資源として担う役割は非常に大きいと思われれます。これらの現状を踏まえて、多様化していくニーズに柔軟に対応すべく、利用者とその家族に対しては満足度の向上を、職員においては資質の向上を図り、利用者職員が互いに充足した時間を過ごせる「生活の場」を目指していきます。

## 1. 利用者・家族への援助

- (1) サービスの利用を通じ、利用者と家族に満足してもらうことを共通意識とします。
- (2) ありのままを受容した上で、利用者と家族双方の『生活の質の向上』が図れるサービス提供を目指します。
- (3) 全ての利用者に公平に関わり、常に温かく優しい心遣いで対応します。
- (4) 個別介護では各自が同じ目的意識を持ち、ケアプランに沿って利用者の置かれている状況を把握し、自立生活を妨げる諸問題に対処していきます。
- (5) 日常生活動作の中に、科学的根拠に基づいた支援を行い、評価と改善を継続して実施する事で利用者の生活の質の向上を図ります。

## 2. 福祉職員としての資質向上

- (1) 職員は介護技術や教養の向上に努め、『共通意識』に添って業務にあたります。
- (2) 各自は互いに個性を認め補い合い、チームとして時々の役割を把握し、サービス提供時間をより良質なものにできるよう努めます。
- (3) 職場会を活かし、よく意見交換を行い、共通意識を深め合えるよう努めます。
- (4) 内部研修、外部研修へ積極的に参加し、知識・技術の習得を図ります。また、得られた知識等は職場全体で共有し、人材と職場の成長に繋げていきます。
- (5) 多様化するニーズに柔軟に対応できるよう、創意工夫を心がけ、スキルアップを図り、利用者の受け入れ態勢の幅を整えていきます。
- (6) 連帯感を大切に、成功事例や苦情は全職員が真摯に受け止め質の向上に活かしていきます。

## 3. 地域社会との交流

- (1) 季節感を大切にした外出行事を実施し、生活動作訓練やリハビリの成果発揮の場として、「楽しみ」「喜び」「生きがい」を提供していけるよう努めます。
- (2) 地域に開かれた事業所となれるよう、ボランティア団体の受け入れを行います。
- (3) 利用を通じて希望や要望が実現できるように、利用者の自己表現の場と社会参加の場を提供します。

## 4. リスクマネジメントへの取り組み

- (1) ヒヤリハット事例を活用し、事故の危険性を共有し、ケアにあたります。また改善点を発見した場合は、速やかに対策を講じ、職員への周知を図ります。
- (2) 緊急時に迅速な対応できるよう、個人台帳の整備を適宜実施します。また、カンファレンスやマニュアル確認等を通じて、知識・技術の取得と共有に努めます。
- (3) 個別性と一貫性のあるサービスを提供し、ケアの品質を保っていきます。
- (4) 備品の確認・管理や緊急時の連絡網を随時整備し、平日頃より緊急時に備えます。